

報道関係者各位

令和7年7月9日  
特別民間法人 中央労働災害防止協会

## 「全国産業安全衛生大会」「緑十字展」 プログラム決定！ (令和7年9月10日～12日 in 大阪・近畿)

中央労働災害防止協会（略称：中災防、会長 筒井義信（日本経済団体連合会会長））は、9月10日（水）から12日（金）まで、大阪市（会場：インテックス大阪、ATCホール他）で「第84回全国産業安全衛生大会」「緑十字展2025」を開催します。このたびプログラムの詳細が決定しましたのでご案内します。



### 【第84回全国産業安全衛生大会】

1日目の総合集会では、第1部として開会式、安全衛生に功績のあった方々の表彰式等を行います。第2部では厚生労働省労働基準局による講演、人間酷似型ロボット（アンドロイド）研究の第一人者である石黒浩氏（大阪大学基礎工学研究科教授・ATR 石黒浩特別研究所客員所長）に「多様な生き方を実現するアバターと未来社会」と題して特別講演をいただきます。

石黒 浩 氏▶



2日目・3日目は10のテーマごとに分科会を設け、全国の企業・団体等が研究発表を行います。さらに安全衛生の専門家と企業等による共同プログラムとして、「化学物質の自立的管理を推進する」をテーマとしたシンポジウム、化学防護手袋研究会の活動紹介、大阪労働局による「大阪発・新4S運動」の推進や「治療と仕事の両立支援」等をテーマとした特別報告のほか、産業保健の専門家と企業の管理者がそれぞれの立場から50人未満の事業場がストレスチェックを導入する際のポイントをご紹介するパネルディスカッションを行います。

また、フジテック株式会社 専務執行役員 デジタルイノベーション本部長 友岡 賢二氏、近畿大学 法学部 教授の三柴 丈典氏、関西大学 社会安全学部 教授の近藤 誠司氏、大阪医科薬科大学 看護学部 教授の飛田 伊都子氏にご講演をいただくほか、人事・戦略コンサルタント HR ストラテジー 代表 松本 利明氏、落語家の桂福丸氏など全国各分野でご活躍の方々による講演も予定しています。

地元企業からは、(株)大林組 執行役員大阪本店建築事業部副事業部長兼大阪本店夢洲総合工事事務所 総括所長 高木 昌紀氏による大阪・関西万博で話題の大屋根リングの建設に関するご発表、関西電力(株)、大阪ガス(株)、カネカ(株)等による企業の取り組みをご報告いただくほか、機械安全に積極的に取り組まれている事業場に対して、第1回目となる「機械安全推進表彰」を行うとともに表彰事業場による事例紹介も行います。

3日間で約220題の豊富なラインアップで安全衛生に関する最新情報を提供します。また、現地での発表とは別に、9月10日(水)から9月26日(金)までオンライン限定プログラム（約30題）の配信を行います（現地会場で開催するプログラムの配信は行いません。）。

(裏面に続く)

## 【緑十字展 2025】

緑十字展（りょくじゅうじてん）は、安全衛生保護具・機器等の総合展示会です。働く人の安全・健康・快適にかかわる幅広いジャンルの製品・技術・サービスに触れることができ、来場者と出展者の双方にとって有益な情報交換・ビジネスの場となっています。

本年は緑十字展史上最大規模での開催となり、260社（980小間）を超える企業・団体が出展します！近年の特徴として、安全衛生保護具関連製品の出展に加え、熱中症対策関連製品や、AI、IoT等の最新技術を駆使した製品など、職場の課題解決に役立つノウハウ・技術・製品が大集合します！！

毎年好評の企画展「安全衛生保護具体験道場」を開催するほか、保護具業界等で働くことに興味がある方向けに、業界研究に役立てていただける情報を発信するブースを設置します。

また今回は特別企画展として「防災・減災コーナー」を設置します。阪神・淡路大震災の発生から30年目の節目である本年、改めて震災対策の重要性を再認識し、職場の防災対策を再チェックしていただくよう呼びかけます。



本大会・展示会は、産業界、行政、労働安全衛生関係者等が一堂に会し、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たにする場であり、働く人の安全や健康、防災等に関する取り組みと、多種多様な情報・ノウハウを共有する機会となります。3日間を通して全国産業安全衛生大会は約1万3千人の参加者を、また緑十字展は約1万8千人の来場者を見込んでいます。

各企業団体の安全衛生活動の推進にお役立ていただけますので、皆様ぜひご参加ください。

○全国大会特設ウェブサイト <https://j-lppf2.jp/jisha-taikai2025/index.html>



○緑十字展 2025 特設ウェブサイト <https://gce.nep-sec.jp/>



※この資料は、厚生労働記者会、労政記者クラブ、厚生日比谷クラブ、鉄鋼研究会、自動車産業記者会、大阪経済記者クラブに配布しています。

## 連絡先

特別民間法人 中央労働災害防止協会

【担当】 教育ゼロ災推進部長 寺島 友子

【照会先】 総務部 広報課長 岩田 良子 電話 03-3452-6449 E-mail [koho@jisha.or.jp](mailto:koho@jisha.or.jp)